

エコラベル・コンシェルジュ(エコプロダクツ・ガイド)認定講座 ～エコプロダクツを語る人, 大量養成計画～

【ビジネスを思い立ったきっかけ】

エコプロダクツ展に来れば、エコプロダクツは分かるけれど、普段の生活では、そもそも何がエコプロダクツが分かりづらい。エコプロダクツに気付いてもらうきっかけとして、まずは、エコプロダクツに貼られているエコラベルを知ってもらうことが、良いスタートになると考えました。

(注: 勿論, エコラベルが付いていないが環境にやさしいエコプロダクツもたくさんあります)

改めて・・・『エコラベル』の目的とは？

商品等、市場を通じて、継続的な環境改善の可能性を促す情報を提供する手段。環境配慮型の商品が優先的に選択され、購買されるための環境負荷の情報、目安となることを目的とします。

でも実態は

『誰もエコラベルの存在に気付いていない』



知らしてもらわなければ、エコラベルは機能しない！

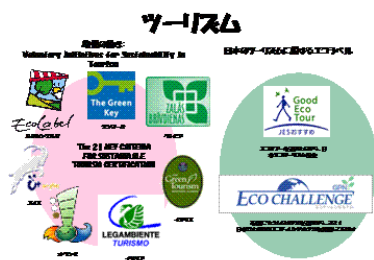
そこでエコラベル・コンシェルジュの登場です。

エコラベルコンシェルジュとは、

『様々なエコラベルについて、説明・紹介ができる専門家』

『地球にやさしい暮らし, エコライフ, LOHASな生活, スローライフを送るための案内役』です

数々のラベル, 貼られている商品を見かけたことがありますか? このラベルはほんの一例です。



最近でも、続々と新しいエコラベルが登場しています。

注1) それぞれのマークの詳細はラベルを取り扱う機関でお調べください。
注2) 環境ラベルの定義と分類は各国で様々に解釈されています。ここで取り上げたものは、広義でエコラベルに属すると独自に判断したものです。

認定講座の仕組み(例)

【概要】

ウェブを通じて、認定講習を行う。受講希望者の受講料の支払確認後、定期的に、課題を送付する。課題は添削して、受講者に返信する。受講者は例えば6回の課題を終えると、認定証が与えられる。認定講座としたが、検定もオプションとして考えられる。

【エコラベル・コンシェルジュ活躍の場】

制度は活躍の場を与えるものではない。

一般消費者, LOHASライフに関心のある人への説明、媒体は店頭、講演、企画、雑誌等執筆等自ら考える。

イベントでの解説ボランティア(環境イベントは数多い!)

エコラベル・コンシェルジュ制度の仕組み

